

子ども虐待予防に向けたハイリスク家庭への アウトリーチ型支援に関する研究

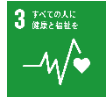
～コロナ禍での保健師活動からの提言～

看護学部，地域ケア開発研究所

○准教授 いしい み ゆ き 石井 美由紀、教授 ほんだ じゅんこ 本田 順子

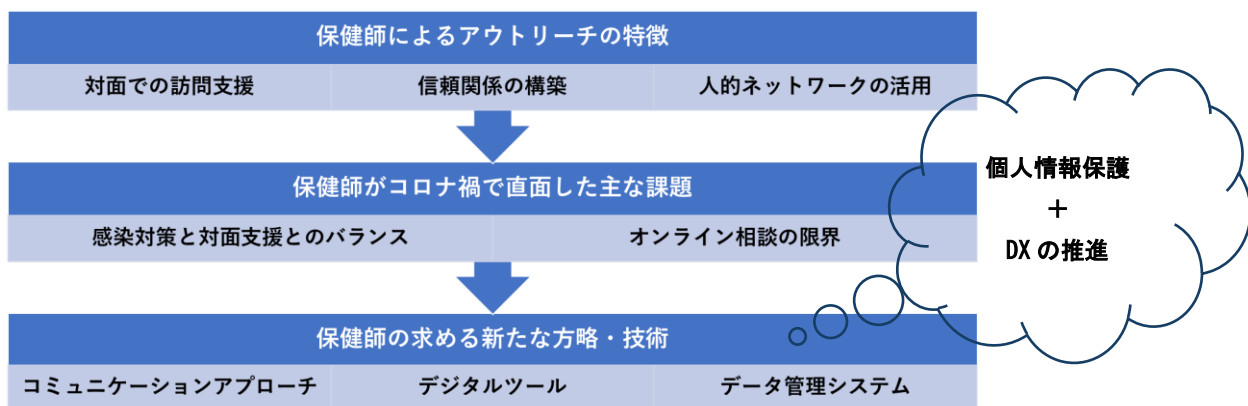
キーワード

子ども虐待予防，アウトリーチ，ハイリスク家庭，
特定妊婦，要支援家庭



研究概要

子ども虐待は母子保健における世界共通の最重要課題である。日本の社会保障審議会児童部会も国や自治体に対し、子ども虐待の防止に向けて、アウトリーチ型支援の推進による妊娠期からの支援の強化を提言している。従来から各自治体では保健師が虐待ハイリスク家庭への支援を担ってきた。しかし、コロナ禍では、住民との接触制限などによって、保健師は、これまでにない課題に直面し、新たなアプローチ手法を求めている。そこで、コロナ禍で保健師が実施したアウトリーチの特徴、直面した課題、効果的に対処するために必要な方略・技術を明らかにした。



注) アウトリーチ：支援を必要とする個人や家庭に保健師が積極的に働きかけること
本研究は JSPS 科研費 22K11134 の助成を受けて実施した。

アピール ポイント

- ・国際ジャーナル（査読付き論文）に掲載¹⁾
- ・香港²⁾，東京³⁾で開催された EAFONS（東アジア看護学研究者フォーラム）にてポスター発表実施済み

- 1) Ishii M, Honda J. Outreach by Municipal Public Health Nurses to Vulnerable Pregnant Women During the COVID-19 Pandemic: A Qualitative Study. *Cureus*, 17(2): e78755, 2025.
<https://doi.org/10.7759/cureus.78755>
- 2) Ishii M, Honda J, Shimoda Y, Ueno M, Kurotaki A. Significance of home-visiting for high-risk mothers of child maltreatment under covid-19 pandemic: Awareness of Japanese public health nurses. The 27th East Asia Forum of Nursing Scholars, Poster presentation, 2024.
- 3) Ishii M, Shimoda Y, Ueno M, Kurotaki A, Shimizu A, Takada S. Outcomes of Postpartum Home Visit for High-Risk Mothers of Child Maltreatment by Public Health Nurses in Japan: A Literature Review. *26th East Asia Forum of Nursing Scholars*, Poster presentation, 2023.